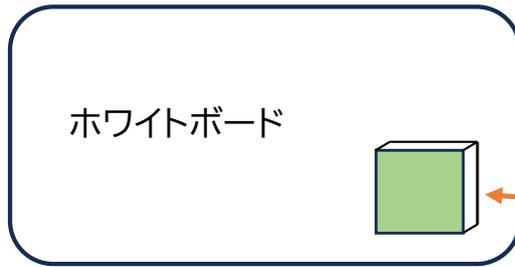


1. 更衣室、休憩室など、職員が入りやすい場所にホワイトボードを置く



- ・事務室なら、園長等の席から視野に直接入らない場所。職員が気軽に貼れる人的環境をつくるため
- ・ホワイトボードは、小さくても30センチ×30センチ程度は必要
- ・フセンは約7センチ角の正方形のものをお勧め。色はすべて同じでも、違ってかまわない

2. 「園敷地内に落ちていたもの」「玩具、遊具、家具など、壊れていたもの」「散歩へ行く途中や公園で気づいた『これ、危ない!』」「気づいた、アレルギー食の置き間違い」など(★)、「気づけたよ(^)v」をフセンに書いて、ホワイトボードに貼ってください、と呼びかける  
ただし、「子どもの危ない行動」は入れない。それは保育そのもの話だから

場所、大事!

園にあってはいけないものは、発見日時重要

さとう

気づいた人の名(必須)

2月3日午後2時ごろ  
門扉と玄関の間の通路に、この釘が落ちているのを見つけました

現物があれば貼る。ないなら、わかるよう具体的に書く

「ルール通りにしていたら、見つかったよ!」も

すずき

2月7日  
調理室でワゴンに乗せた後、トレーの名札とお皿のラップの名前を声出し指差し確認していたら、置き間違いに気づきました! よかった!!

3. ホワイトボードに貼られたフセンに、園長、主任、看護師等がささっとフィードバックを書く(1~2日以内に)。反応があるから、「また書こう!」と思う。出さない人を責めない!

気のきいたことを書く必要なし。「ありがとう」を繰り返すのも能がない。何をフィードバックするか?

- ・外部(業者や自治体)に依頼、確認、報告することは「依頼/確認/報告する(した)」
- ・保護者に伝えること(危険な落とし物や開けっ放し等)は、「掲示する(した)」
- ・事務室でできることは「する/した」
- ・クラスで話し合うべきことは「話し合おう」
- ・園全体で共有すべきことは「伝える/伝えた/話し合おう」と

昨夜来ていた工事業者かも。

電話したら、長い釘、使ったそうです。  
「寄ります」って言ってました。ありがとう!

よかった! ワゴン乗せ後チェックは  
すぐ大事ですね。クラスの配膳直前  
チェックも!とみんなに共有します

4. 対応が終わったフセンは分類して紙に貼り、分類ごとに綴じていく(監査もこの状態で大丈夫)。ただし、フセンは重ねて貼らないこと! 重ねてしまうと、「1か月前に同じ物が落ちていたから、ここに貼っておいたんだけど...」というような時に探せないから

★「保育の価値を伴うケガ」「いなくなった」事例の発生後検討はフセン法では無理。「安全」の2-8の書式で。詳しくは「安全」の2-6を参照